

日本大学三島高等学校 同窓会会報

第34号

平成17年3月1日
静岡県三島市文教町2
日大三島高校同窓会発行



御挨拶

新会長 久保田 光

第1期生・(有)久保田事務所
代表取締役 (神奈川県小田原市)

余寒の候 同窓会々員の皆様におかれましては、ご健勝のこととご推察申し上げます。また日頃から同窓会役員の方々をはじめ、会員各位の同窓会活動に対するご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて私は、昨年10月の本校同窓会総会におきまして、同窓会会长の重責を仰せつかった第1期卒業の久保田光でございます。

前会長でありました高田菊平氏の永きに渡っての実績並びにその指導力は、他に類を見ない程のものでありましたけれども、この意を踏襲し微力ながら私の同窓会への考え方、方法論を加味させていただいて、役員ともども確固たる同窓会を確立すべく1期2年の間に心身を絆する覚悟でございます。

さて同窓会の組織は、母校の在籍地であります三島市を中心として、各地域を10支部に区域分けしております。各支部は、それぞれ支部長を中心に活動しており、一定の成果を得ておりますが、更に増幅させるための一助を何にするかをこの任期中に考え実行しようと思っております。

それには私をはじめ会員各位が、

1. 知恵 が必要であります。

- ・各支部の活性化。
- ・組織の更なる確立。

2. 勇気 をもって任にあたりましょう。

- ・1年間の各事業の推進状況の把握とその過程の問題点。
- ・母校との打合せ事項を討議する機関の設立。
- ・同窓会各規約の改正。

3. 親睦、融和 をもって楽しい同窓会にしましょう。

- ・各支部の交流
- ・事業計画（イベント）の検討。

以上を挙げて将来に続く同窓会でありますように改革しようと思っております。

それでは、この同窓会が同窓生の生活の中で何故必要であろうかと思うにあたり、昨今の社会、経済状況の中で、日本経済も上向きとの報道が、新聞紙面には記載さ

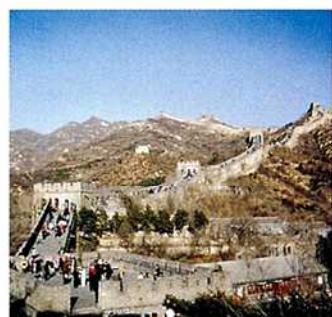
れておりますが、決して中小企業はこの条件を享受しておりません。世界の経済動向に、左右されながら、はてまた紛争の絶えない地域の存在、自然災害による国力の低下等が経済発展を鈍化させ、日本経済もこの波に洗われているのが現状です。しかしながら私が各支部での活動にお伺いした折に、異業種の交流があり、それぞれ少しずつではありますけれども業務の結実を見て、その成果を得たとのお話しを伺っております。これも真に同窓会の成せる業であり、中には同窓会がご縁で結婚されたとの楽しいエピソードもあります。誰にも話ができない、或いは自分の意見、考え方を伝えられず困惑している同窓会員がいればこそ、この会が或いはこの支部が貴重な存在となる訳であります。

また母校が近年に50周年を迎えるにあたり、学校からの要望、要請、同窓会としてのご援助の方法も討議しなくてはなりません。会員各位のお力添えをお願いし、母校と同窓会のあるべき姿の鮮明化を期してゆこうと思っております。

是非ともこの意をくんでいただいて同窓会にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終りにあたりまして、この三つの目標を挙げ、私の任期中に実行する所存でございますので、皆様のご理解とご鞭撻をお願い申し上げ、あわせて母校の同窓会の発展を祈り、会員各位のご健勝とご多幸を祈念し、同窓会活動への変わらぬご支援を賜りますよう伏して、お願い申し上げます。

平成17年1月 吉日



初の海外修学旅行

中国北京

上：万里の長城
左：天壇公園

ともに世界遺産



母校愛が結ぶ 友情の絆

校長 北島 肇

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。平素から、母校の教育振興と在校生の学習活動のために、有益なご助言やご後援を賜りまして、誠に有り難く心より感謝申し上げます。

さて、昨年10月の総会にて、同窓会会长高田菊平氏のご意向により、副会長久保田光氏が新会長に推挙されました。高田菊平氏は、会長として三十余年にわたって同窓会の発展に尽力されてまいりました。文字どおり同窓会の礎となっていました。心から深く深く感謝申し上げ、今後とも変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます。

第45期生801名の皆さん、いよいよ学び舎を巣立つ日が近づきました。この三年間に、皆さんには「知」を十分に蓄え、心身ともに目覚ましい成長を遂げ、晴れの日を迎えようとしています。卒業に当たりまして、皆さんのが本校在学中に体験した事柄を想い起こしてほしいと思います。高校生活の三年間は、勉強以外にも大きな意義を持っていることは言うまでもありません。何よりも、高校時代の友は生涯の友となるといわれています。学級や生徒会、部活動の仲間として、共に喜び悩んだという体験は、青春の日々の思い出としてなにものにも代えがたい心の財産であります。本校の同窓会の席で、同窓の方々

から高校時代の思い出をお聞きするとき、長い人生の中で高校時代の三年間が持つ重みは、きわめて大きなものだと実感します。人生は厳しいことのほうが多いのですが、いつの日か高校時代を振り返るとき、自分の青春と学校生活のさまざまな場面が、生きる力や勇気を分かちがたく結びついていることに気がつくことでしょう。

本校の同窓会の会員は既に46,111名を数え、それぞれの地域や社会で指導的、中心的役割を果たし活躍しています。皆さんも卒業と同時に同窓会の一員になります。同窓会に出席しますと「本当に出席してよかった」という声を必ず耳にします。先輩、同級生、後輩が集う喜びの中で、しばし、現在の境遇を忘れて、それぞれの学生時代の思い出を語り合い、励まし合いができるなど、言葉では言い表せぬ喜びと楽しみがあるからでしょう。

同窓会の盛会は、教職員にとりましても大きな励ましであり、勇気づけになります。そして、会員相互の親睦を図りながら、貴重な情報交換の場とし、架け橋となり、後輩が学ぶ母校の支援体制の強化と発展にご尽力くださることは、教職員一同の心からの願いであります。

同窓の皆様が、母校日本大学三島高等学校の卒業生であることを心から誇りに思っていただけのような学校づくりに、教職員一同力を合わせ努力を重ねてまいる所存です。皆様の絶大なご支援とご協力をお願ひいたします。

4年後の平成20年には創立50周年という節目を迎えます。同窓生の皆様が伝統を継承されるなかで培われ築かれていく絆が、未来に向かって、ますます高く、大きく、強く発展されますことを心よりお祈り申し上げます。

お知らせ

高等学校第9代校長・中学校初代校長北島肇先生は、平成17年3月31日付をもって、定年によりご退職になります。先生は昭和39年4月1日に奉職され平成10年7月1日より教頭、平成15年4月1日より校長としての任務を果たされました。先生のこれから的人生の御多幸をお祈り申し上げます。

平成16年度 事業報告

1 総 会 平成16年10月22日(金)三島プラザホテル

- (1) 高田菊平 会長挨拶
- (2) 学校長 北島肇先生挨拶
- (3) 国際関係学部次長 石渡利康先生
- (4) 議事(事業報告・決算報告・役員改選・事業計画・予算案・その他)
- (5) 懇親会(新会長 久保田光一期生挨拶 その他)

2 幹 事 会

- (1) 平成16年9月22日 母校 小会議室
総会・役員改選の件
- (2) 平成17年2月10日 高田屋
入会式・会報発行の件

3 事 業

- (1) 平成16年7月 同窓生への会報発送 45,000通
- (2) 平成17年2月26日 第45期生入会式 母校8号館
表彰 奨学金 山田祐子 石井勇仁
記念講演 アテネオリンピック日本代表チーム

ヘッドコーチ 日本大学水泳部監督 日本大学
豊山高等学校・中学校教諭 上野広治 先生
テーマ「アテネの空に日の丸を」

4 支 部

- (1) 三島支部 平成16年2月27日 地中海
平成16年5月28日 三島グランドホテル
- (2) 富士支部 平成16年2月27日 吉原公民館
平成16年6月5日 富士ハイツ 他1回
- (3) 静岡支部 平成16年5月28日 ブケ東海
平成16年9月26日 ゴルフ大会 他7回
- (4) 小田原支部 平成16年4月24日 小田原市民会館
平成16年9月11日 小田原アジアセンター
- (5) 沼津支部 平成16年6月11日 沼津キャッスル
- (6) 熱海支部 平成17年1月26日(水) まつみ

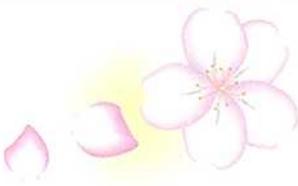
5 各期・女子部会その他

- (1) 女子部会 平成15年11月26日 登喜和
- (2) 第2期の会 平成16年8月28日 三島プラザホテル
- (3) 活性化委員会 平成16年11月16日 母校小会議室
全体及び支部活性の件



「継続は力なり」 同窓会長退任にあたって

前同窓会長 高田菊平



会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のことと思います。常日頃から、同窓会活動にご尽力賜りまして厚くお礼申し上げます。

私は昨年10月に同窓会の会長を勇退させていただきました。長期間にわたり会長職をおおせつかり、今日まで同窓会の活動を絶やすことなく地道に続けてこられましたのも、会員の皆様の暖かいご支援とご協力の賜物であり深く感謝申し上げます。

思い起こしますと、幹事長を努めてから10年余り、母校の創立20周年を契機に、当時の玉津徳太郎校長先生のご英断で、若い同窓会活動をさらに発展させるために、同窓会員の中から初の会長を選出することとなり、私がお受けすることとなりました。

幹事長から数えて約35年余、同窓会役員としてかかわってまいりました。

その間、同窓会の組織固めのために地域ごとの活動を基盤とする支部結成を重点課題として取組み、又会員同士の親睦を図るために、家族ともどもの綱引き大会や乗船花火大会、また支部ごとの行事、親睦会の開催、そして新入会員への歓迎記念講演会、在校生に対する表彰、

全体総会、会員への会報発行と配布等々、曲がりなりにも色々と手がけてきました。

私共の同窓会の歴史としてはまだ少年期であります。これらの活動を継続してきたことによって現在があると認識しております。

まさに“継続は力なり”であります。どうか今後とも同窓会発展のために変わらぬご支援、ご尽力をお願いいたします。

さて今回の総会において会長に第一期生の、久保田光さんが選出され、これを快く引き受けさせていただきました。

後任として、大変ふさわしい人が選出されたことを喜んでおります。

久保田新会長は、行動派で責任感の強い方であり、今までと異なった新しい視点、感覚でさらに同窓会の発展のために、力強いリーダーシップを發揮していただけるものと、大いに期待しております。

現在、新会長をはじめとして会員の皆様がやや弱体化してきた支部について、その強化をすべく支部役員とともに活動を進めておりますが、私もおよばずながら今後も会長をバックアップしてまいる所存であります。どうかよろしくお願い申しあげます。

最後となりましたが、会長在任中に皆様から受けました暖かいご支援とご指導に、心より感謝申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(平成17年1月20日)



上・左:平成16年10月22日
総会にて



下:第43期生入会式にて
平成15年2月22日





新入会員を迎える

「夢」のある人

江藤 雄二
(第9期)

3年生の皆さん、卒業おめでとう。日大三島での三年間はどうだったかな。今、日本の若者の中には、「ニート」と呼ばれる人達が急増している。この人達に共通しているのは、目的意識が欠け、やる気が持てないことがある。

君達は、この三年間の成果により、進むべき道を見つけたはずだ。その決断を下したのは、君達自身である。これから数年間は、人生の中で、自分自身の原点を創る時期である。自分の選んだその場所で、自分の能力を思いきり發揮してみよう。若さゆえ、順風満帆とはいかないかもしれないが、目標を見失うことなく、進み続けて欲しい。その歩みの中から、さらに大きな夢を見つけ、その実現に向かって努力できる若者になって欲しい。「夢」のある人は、頑張れるものである。

一社会人となった君達と、同窓生として会える日を楽しみにしている。

各支部長一覧

支部名	三島	田方	沼津	御殿場	富士	富士宮	静岡	熱海	小田原
氏名	藤幡俊量	内田敏明	今井信忠	日置信弘	秋山一雅	永井敏文	谷口俊司	河口功一	川口功一
住所	三島市東本町二一四一三三	田方郡大仁町吉田八三九一四	沼津市市場町一〇一一	駿東郡小山町古城四四	富士市厚原二一六九一一	富士宮市浅間町四一一五	静岡市東千代田一四一二〇	熱海市上多賀九二〇一一	小田原市東町四五一一〇
TEL	(〇五五) 九七二一三九五	(〇五五八) 七六一二三三七	(〇五五) 九三一一七八七八	(〇五五〇) 七六一三四八四	(〇五四四) 七一一〇一六六	(〇五四) 二六一三八四七	(〇五四) 二六五一五三三五	(〇五六七) 六八一四〇二三	(〇四六五) 三四一三五三七



入会の言葉

一生の友
瀧谷 恵介
(第45期生代表)

私たち第45期卒業生一同は、日本大学三島高等学校同窓会に入会させて頂ける事となりました。尊敬する先輩方も、この長い歴史を持つ会に入っていると思うと光栄なことであり、大変嬉しく思います。同窓会は、先輩方との交流の場であり、友との再会の場でもあります。この同窓会への入会を一生のものとし、大切にしていきたいと思います。

3年間という学校生活は短くもありましたが、その中にある一瞬、一瞬には沢山の思い出がつまっています。そして、その中にはいつも友の姿があります。共に学び、共に時を共有した友は一生の友であると改めて実感します。

私たちがそれぞれの道を歩んでいく中、今後ともご指導のほどよろしくお願ひいたします。

クラス幹事

1組	岩田好弘	12組	星谷尚輝
2組	植野与通	13組	山田直哉
3組	井出敬介	14組	榮英里奈
4組	杉山友香	15組	深瀬健太
5組	松浦秀実	16組	滝口亮介
6組	林舟之輔	17組	近藤俊樹
7組	中田慎也	18組	小川真幸
8組	岩崎貴宏	19組	長谷川悦美
9組	川口匠	20組	青柳輝彦
10組	中村祐輔	21組	瀧谷恵介
11組	加藤拓人	22組	中山剛司

以上の人たちが平成16年度卒業生のクラス幹事に選ばれました。将来、クラス会などを開くときには、以上の幹事を中心として協力しておこなってください。皆さんの御活躍を祈っています。

同窓会総会

平成16年10月22日(金)：於三島プラザホテル

恒例の総会が、平成16年10月22日に開催された。来賓に、国際関係学部次長、石渡利康先生をお迎えしての会となった。今回は特に、役員改選にあたり、永きにわたり会長の任にあった高田菊平氏がご退任になり、新たに久保田光氏が新会長に就任された。高田菊平氏には、久保田光新会長より感謝状がおくられた。同窓会員一同が、高田菊平氏の果たした深い功績に対し、心よりの御礼を申し上げ、今後のさらなるご活躍をお祈りいたします。また、久保田光新会長に対しても会員一同一致協力していきたいと思います。

会においては、各支部ごとのメンバー紹介などもありにぎやかな時をを過ごすことができた。次の会においても多くの会員が参加されることを願っています。



小田原支部 同窓生の集い

支部長 川口 功一
(第3期)

平成16年9月11日に小田原市城山のMRAアジアセンターにおいて《小田原支部同窓生の集い》が開催されました。《集い》には北島肇校長先生をはじめ、三島、静岡、富士宮など多くの支部より激励に参加いただきました。以前の報告にも記したと思いますが、年度をさかのぼると私たち3期生が大学に在学中に小田原支部として卒業生が集まり行事を行っておりました。支部長を仰せつかっている私も還暦を迎えるわけですから、40年も前の話となります。振り返りますと当時、小田原から三島に通学していた学生はほんの少数で3期生に例をとれば私を含めた3名でした。多くは東側すなわち東京方向への通学でした。のために後輩たちとのコミュニケーション

ションも非常によく取れ、5期、6期、7期生くらいまでは今でも声をかけるとすぐに連絡がいきわたります。2004年の現在小田原方面でも数千名の卒業生を有する所帯となってまいりました、それに伴い現代社会の個人主義もあってか卒業生同士の行き来も少ないようになっております。この卒業生の連帯感を失わないためにも小田原支部も改めて支部総会を《同窓生の集い》として開催いたしました。しかしながら最初の連絡に使用する資金もなく今回お集まり戴いた方たちからカンパを募ったり、卒業生のよしみで地元新聞の本來は固有企業の宣伝のための大きな広告欄を無料貸借し数回掲載いたしました。このような広告をご覧になって、ご夫婦が三島の卒業生、ご子弟がこの度ようやく設立した付属中学の生徒という小田原に在住の同窓生も参加いただき、平成16年の行事は多くの同窓生の協力と参加で盛大に執り行うことが出来ました。今後はせっかく開いた同窓の小田原支部の芽を絶やさない為にも工夫をこらし、末永く活動を続けていけるように多くの各期の同窓生にご協力を仰ぎたいと思います。

最後に、業務の多忙の中、今回の《集い》にお力添えを戴いた同窓生各位に敬意を表して閉じたいと思います。連絡は E-mail : sankyoa@maple.ocn.ne.jp です。

ご定年によって退職される先生方



渥美 滋先生



野知 徹男先生



長浜 弘二先生



前田 健一先生

2ページでお知らせしましたように、北島肇校長が平成17年3月31日付をもって、ご定年により退職されます。

その他の先生方にも、平成16年度中にご定年により退職される方が四名おられますので紹介します。

渥美滋先生は、昭和38年4月1日に奉職され、平成16年10月26日付をもって退職されました。先生は、工業科、女子部、英語科の教師として活躍されると同時に、教務、生徒会、相談室などの校務もこなされました。

野知徹男先生は、昭和39年4月1日に奉職され、平成16年11月11日付をもって退職されました。先生は、地理、倫理を担当され、校務においては永きにわたり、生徒会、校務部で仕事をされました。工業科や女子部で学んだ同窓生も懐しく思われることでしょう。

長浜弘二先生は、昭和39年4月1日に奉職され、平成17年3月17日付をもって退職されます。先生は音楽一筋として生徒に接して来られました。あの美しい声を思い起こす同窓生も多いことでしょう。

前田健一先生は、昭和39年4月1日に奉職され、平成17年3月18日付をもって退職されます。先生は地歴公民、特に世界史を専門として教鞭を執られました。

以上の先生方が、平成16年度中にめでたく定年によって退職になります。先生方の今後の新たな人生が、幸多きものでありますよう、同窓生一同心よりお祈り申し上げます。

富士支部紹介

支部長 日置 信弘
(3期)

富士支部同窓生は鈴木尚市長を筆頭に多方面に於いて地域のリーダー的立場で活躍しており、会員相互の信頼と協調の元充実した活動をしております。反面少々気懸りなこともあります。近年富士市からの入学生が減少していることです。母校と我々同窓生が連携し、一人でも多くの生徒を母校へ送り育てて頂き地元へ還していく。そして多くの同窓生が活躍し、富士市発展に貢献することができれば母校の名声を益々高めることができると確信しています。本年度も他支部の皆様との親交を仰ぎ、より充実した活動を展開して参ります。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

平成16年度の行事報告

16年度総会 6月5日
納涼会 9月4日
忘年会 12月11日

お知らせ

藤井敬樹教諭(保健体育)が平成16年6月退職されました。

母校初の海外（北京）修学旅行

母校にとっては初の海外修学旅行が、平成16年11月25日より、4泊5日の日程で四つの集団に分かれて実施された。目的地は中国の北京。日本大学国際関係学部の附属高校として、平成14年度の実施計画を立てたのだが、国際テロやサーズの影響によって延期されていた。そしてやっとのことで実施にこぎつけた。万里の長城や故宮院などの世界遺産にふれ、中国の壮大な時間に生徒たちは感動した。真の知識は体験にもとづくものであることをあらためて知ったともいえる。

昭和41年度、3年4組 B組合同クラス会

根本庸光先生が平成15年12月25日をもって、めでたく定年退職されました。そこで、奥様の植村尚代先生（旧姓、B組の担任）もご一緒に、合同のクラス会をもちました。我々4組にしてもB組にしても、お二人の先生にとって初めての3年生の担任であり、先生にとっても我々歳をとった生徒にとっても、いつまでも新鮮で思い出深いものがあります。わずかなひと時でしたが、実に充実した味わいの深い会となりました。この人との関係を、人生の宝としてこれからも生きていきたいと思っています。

